

平成28年度 周南市行政評価のまとめ【概要】

1. 行政評価の概要

事務事業の自己改善ツールである「事務事業評価」を行うとともに、「施策評価」については、第2次まちづくり総合計画の149の推進施策単位で実施するとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動させ評価を行った。

また、この行政評価等を用いて、サマーレビューによる各所管課へヒアリングを行い、事業評価や予算の洗い出しを行うなど、マネジメントシステムとの連動を図っています。

「事務事業評価」と「施策評価」

「事務事業評価」は施策の目的を達成するための活動である「事務事業（予算小事業）」を自己点検し、事業の最適化を図るための改善ツールです。

「施策評価」は、まちづくり総合計画を実現するために「基本施策」や「推進施策」等の目的や目標を明らかにし、その成果に着目する中で、施策の最適化と「選択と集中」を図るために実施するものです。

2. 取組状況

期間等	実施内容
5月～6月	事務事業評価（所管課評価） 個別事務事業の所管課による評価
9月	サマーレビュー 次年度予算編成に向けて、事業の見直しや予算の洗い出しを目的とし、各所管課へのヒアリングを実施
	議会が行う行政評価等への資料の提出 議会が行う行政評価や、決算における主要な施策を説明する資料として事務事業評価シートを提出
1月～2月	事務事業のH29 予算における改善点の提出

3. 評価結果

○事務事業評価

区分	内容	H24	H25	H26	H27	H28
A評価	計画どおりに進める。	110	326	414	389	353
B評価	実施方法やコスト等を見直しのうえ継続	468	525	460	453	399
C評価	事業統合や外部委託等による大幅な見直し	86	29	30	29	41
D評価	休止・廃止の検討	20	11	32	20	29
合計		684	891	936	891	822

※予算小事業の統合等により、事業数が減少しています。

○施策評価

区分	H28
重点推進	27施策
推進（緊急性を伴うもの）	12施策
推進	31施策
維持	79施策
合計	149施策

4. 次年度予算との連動

◇ 平成28年度行政評価及び各課の工夫等による効果額

111,809千円

【主な内容】

○ 働き方改革による時間外手当の削減	30,190千円
○ 動物園管理運営事業	13,235千円
○ 浮標灯の廃止	4,681千円
○ 事務の見直しによる嘱託職員業務の減少	2,606千円
○ マイクロバス運行管理の一本化	1,871千円